

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0302	政策名	学校教育の充実	施策主管課	学校教育課	課長名	佐々木 健一
政策の目指す姿	夢と希望を持ち、たくましくいきいきと育っています						
施策No	01	施策名	学力・体力の向上	関係課名	学務管理課		
施策の目指す姿	児童生徒の学力・体力が向上しています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力については、平成27年度の調査によると、小学校児童は県の水準を上回っていますが、中学校生徒はやや下回っている状況にあります。</li> <li>・体力・運動能力については、中学校生徒は県や全国の水準を上回っていますが、小学校児童は、やや下回っている状況にあります。</li> <li>・食生活や生活習慣の変化により、肥満傾向の児童生徒の割合が微増傾向にあります。</li> </ul>							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度には、県学習定着度状況調査において県平均正答率に到達することを旨とし、下記の取組( )を行う。</li> <li>各校の組織的な取り組みを支援し、県平均を下回る学校を中心に支援するため、指導主事や学力向上支援員による計画的・意図的な訪問指導(県平均を大きく下回った学校を中心に。指導対象を教師のみならず、児童生徒や保護者にも説明する機会をつくる)の回数を増やしていく。</li> <li>中学校での課題である数学・英語の学力向上推進のため、英語検定受験の補助を今後も継続するとともに、小学校における基礎学力向上のため、漢字検定受験の補助を実施する。</li> <li>運動に親しみ、体力向上につなげるために、体力向上実践事業を活用し、小学校3校を事業実践校として指定することで各学校の取組を推進する。</li> </ul>							
反映状況							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の定着状況に課題のある学校を中心に、意図的・計画的に学力向上支援員による学校訪問指導を実施した。</li> <li>・学力向上を推進するため、中学生の英語検定及び小学生の漢字検定の受験料の補助を実施した。</li> <li>・市内小学校3校を体力向上実践事業における実践校に指定し、各校の特色を生かした基礎体力向上のための取り組みを支援した。</li> </ul>							

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)学力の向上							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導の充実</li> <li>・30人を超える学級を有する小学校に「はなまき授業サポーター」、中学校に「中学サポーター」を配置</li> <li>・「学力向上アクションプラン」の推進</li> <li>・各校の学力向上の取り組みを支援する「学力向上支援員」を配置</li> <li>・研修会等の実施による教員の授業力向上</li> <li>・外部講師による模範授業講義の実施</li> <li>・次期学習指導要領への対応(小学校R2実施、中学校R3実施)</li> <li>・市内全小・中学校に英語指導助手(ALT)を派遣し、外国語の授業を実施</li> </ul>							
(2)健やかな体の育成							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上のための特色ある実践的な学校の取り組みの推進</li> <li>・実践校(3校)指定し、基礎体力向上のための取り組みを支援</li> <li>・小学校体育連盟および中学校体育連盟事業に対する支援</li> <li>・各体育連盟事業補助金および県中総体開催補助金を交付</li> <li>・児童生徒検診の実施や学校保健活動の充実</li> <li>・児童生徒や教職員の健康保持のための学校医等の確保や各種健診の実施</li> </ul>							

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
小学生の教科学習における基礎基本の定着度(県平均を100とした場合の対比)	岩手県学習定着度状況調査は、児童生徒の実態や指導の状況を評価し分析するツールの一つとして毎年実施しており、児童生徒の学力を測る指標として適当と考える。	小5(国、算、社、理)の県平均を合計し、教科数で割った数値を100として本市と比較する。	%	目標値		105.00	105.00	105.00		
				実績値		100.00	100.20	99.30		
中学生の教科学習における基礎基本の定着度(県平均を100とした場合の対比)	岩手県学習定着度状況調査は、児童生徒の実態や指導の状況を評価し分析するツールの一つとして毎年実施しており、児童生徒の学力を測る指標として適当と考える。	中2(国、数、英、理、社)の県平均を合計し、教科数で割った数値を100として本市と比較する。	%	目標値		102.00	103.00	104.00		
				実績値		101.00	97.20	99.30		
児童生徒の「体力・運動能力調査」の全国平均を上回る項目割合	体力・運動能力調査は、児童生徒の実態を把握し指導の在り方を検討するため毎年実施しており、児童生徒の体力・運動能力を測る指標として適当である。	握力、上体起こし、体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ	%	目標値		50.00	52.10	54.20		
				実績値		40.60	42.70	27.10		

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>「体力・運動能力調査」の中学生の結果は、目標値79.2%に対し実績値47.9%だった。</p> <p>成果指標「教科学習における基礎基本の定着度」...【達成度 小学校b 中学校b】          小学校は県平均を下回り目標値に届かなかった。授業改善や「はなまき授業サポーター」の活用、児童の実態に合わせたきめ細やかな指導がまだ十分ではないと考えられる。中学校は、「中学サポーター」の活用やGアップシートの作成配布、学力向上支援員による訪問指導により、事業の成果が徐々に表れているが、まだ十分ではない。</p> <p>成果指標「体力・運動能力調査」...【達成度 小学校c 中学校c】          小中学校ともに目標値を下回っており、日常的に運動する機会が減少してきたことが背景にあると考えられる。学年や項目によってばらつきが見られ、中学校では約半数の項目が全国平均以上になっており、小学校の体力向上が課題である。項目別に見ると、小学校は長座体前屈、中学校は反復横とびと20Mシャトルラン、小中学校共通して50M走が課題である。</p>

### 4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の重要課題のひとつである学力向上について、家庭学習の充実（時間・内容の工夫）を図る必要がある。</li> <li>・体力向上については、実践校（3校）において、体育などの授業に地域の体育指導者等をゲストティーチャーとして招聘し、また、学校内だけでなく家庭と連携して児童生徒の運動の機会を増やすなどの工夫により、運動の習慣化を推進していく必要がある。</li> <li>・小学校外国語教育推進事業については、外国語教育支援員が各小学校を巡回し、英語指導助手（ALT）との連携による効果的な授業の在り方について助言する。</li> </ul>
新たに取り組むべき事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上のため、岩手県立総合教育センターが作成した中学生向けの数学及び英語の学習定着シート「Gアップシート」を全中学校1・2年生に配布する。</li> </ul>

### 5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校における学力向上は継続した課題であり、学校によっては、県平均を大幅に下回る場合もあり、各小・中学校の組織的な取り組みを今後とも支援する必要がある。</li> <li>・学校の体力向上に向けての取り組みについては、小・中学校ともに運動の習慣化を図り、特に小学校における基礎体力の向上を推進する工夫が必要である。</li> </ul>
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上で課題のある学校を中心に校内の組織的な取り組みを支援するため、指導主事や学力向上支援員による計画的・意図的な訪問指導（指導対象を教師のみならず、児童生徒や保護者にも説明する機会をつくる）の回数を増やしていく。</li> <li>・小学校3校を体力向上実践推進事業の実践校として指定し、当該実践校における体育の授業の工夫や運動の習慣化を促す取り組み等を各校に広め、市内児童の体力の改善を図る。</li> </ul>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	<b>学力向上推進事業費</b>	学校教育	間接・少数	直結	B
	学力向上支援員(1人)、はなまき授業サポーター(8人)及び中学サポーター(4人)の配置、教材「Gアツプシート」の作成配布、到達度学力検査の実施、漢字能力検定料の全額助成(小学校5・6年生対象)				
020	<b>まなび交流学習事業費</b>	学校教育	一致	間接・補完	B
	小規模校と中規模校間で、音楽、体育、総合的な学習の時間等で行う交流学習を支援(交流4回)				
030	<b>体力向上実践推進事業費</b>	学校教育	一致	間接・補完	B
	実践校を指定し、各校の特色を生かした基礎体力向上のための取り組みを支援(小学校3校)				
040	<b>小学校外国語教育推進事業費</b>	学校教育	一致	直結	C
	各小学校に外国語教育支援員及び英語指導助手(ALT)を派遣(19校、小学校3～6年生の外国語活動の授業に派遣)				
050	<b>中学校外国語教育推進事業費</b>	学校教育	一致	直結	B
	各中学校に英語指導助手(ALT)を派遣(11校)、英語検定料助成(中学生が受験する英語検定の受験手数料を生徒1人当たり年間1回まで市教育委員会が負担)				
060	<b>学校保健事業費</b>	学務管理	一致	間接・補完	B
	児童生徒や教職員の健康保持のための学校医等の確保や各種健診の実施生活習慣病予防健診受診者数(小4)(604人 異常なし81.95%)生活習慣病予防健診受診者数(中1)(674人 異常なし86.65%)				
070	<b>小中学校スポーツ振興事業費</b>	学校教育	一致	間接・補完	-
	花巻市内小・中学校体育連盟の活動を支援(補助金交付件数:4件)				